

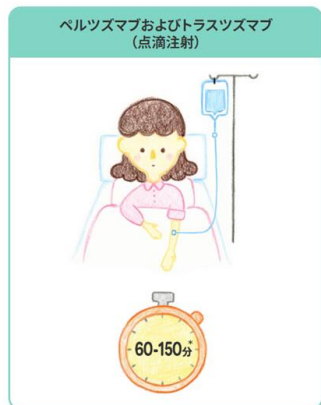
# 乳がん高度検診・治療センター

## NEW-す No.117

**短時間で投与可能！**  
**抗HER2薬の皮下注射製剤が登場！** ~フェスゴ®~

フェスゴ®はHER2タンパクを標的とする治療薬（抗HER2薬）である“パージェタ®（ペルツズマブ）”“および”ハーセプチン®（トラスツズマブ）”、薬剤の吸収を促進する“ボルヒアルロニダーゼアルファ”を配合した薬です。従来は点滴の薬剤でしたが、フェスゴ®は乳がんの治療薬としては**初！**となる「皮下注射の製剤」として2023年11月末より保険診療で投与が可能となりました。

### フェスゴ® について



\*:初回投与時に問題がなければ、2回目以降は投与時間を短縮することが可能です。

フェスゴハンドブック・ダイアリーより

フェスゴ®の名前の由来「PHESGO」

Perjeta Herceptin **EaSy to Go**

「簡単に投与できるパージェタ・ハーセプチン」

従来のペルツズマブ+トラスツズマブは、初回は約150分、2回目以降は**約60分の点滴投与**でした。一方、フェスゴ®は皮下注射の合剤であり、初回は約8分、2回目以降は**約5分で投与が可能**です！

まさに「Easy to Go!!」  
 フェスゴのメリットは**投与時間の短縮**です！  
 デメリットは、注射を行った部位の発赤や腫れなど、注射部位反応が起こる可能性があることです。

## 患者さんの希望は？

皮下注射は「痛そうだな」「こわいなあ」と感じる方もおられると思います。実際に「フェスゴ®皮下注」と「ペルツズマブ・トラスツズマブの点滴」の両方を受けられた患者さんに、その後の治療はどちらを選択するかを聞いた国際共同臨床試験（PHranceSCa試験）の結果では、

**約85%の方がフェスゴを選択**しています。

当院では2023年12月よりフェスゴ®を導入し、トラスツズマブ・ペルツズマブの点滴から順次切り替え中です（全面切り替え予定）。

導入に際し何か不安がある方は、是非担当医やスタッフにお聞きくださいね！



今後ほかの薬剤も皮下注射製剤の開発が進んでいるそうです。

患者さんにとって乳がんの治療はあくまでも日常生活や人生の一部です。

乳がん治療を行いながらも、できるだけ「自分らしい日常生活」を送っていただくため、様々な形で患者さんを応援する環境がますます進むことを願っております！



乳腺外科 大城 智弥

市立貝塚病院 電話：072-422-5865